

テストが近づくと、心はくすくす、  
といている年々のみんな。  
いいこともオツとせん先生重

独り言

◎ この「ねんりん」は二百四十一号になっている。注意深い人は気がついたかと思うが実は二号とんでいる。これは担任の先生が手渡すのを忘れたわけでもない。先生が間違ったわけでもない。これから2月までの行事や先生の方の入試に向けての事務的な仕事の手定を表明したものを作りそれを二百三十九号と二百四十号にしたのだが、内容としては先生用となつてみんなに配布しても意味が無いとそれをとぼしたというわけ。年度末に一冊に製本するときには残しておきたいので通し番号を打ちました。というわけ。見たい人は森口先生の後のロッカーにはつてあるので職員室に来た折にでもどうぞ。

◇ 今日森口先生が何を思ったか「先生、後十年すれば〇〇才ですか」とうれしそうに笑う。ケタケタ笑う。「若いですわね」とゲタゲタ笑っている。あたりまえじゃ。十年立てば今より十歳、歳いくわい」とおもった。何考えとんかよーわからんが、「ねんりん」で仕返しをしてやろうと決めた先生でした。みとれよー。確か「『ねんりん』は仁木先生の武器ですわねー」と言ったのは森口先生だったわい。といいつつもそんなことに「ねんりん」を使つてはいけません。

■ 今日は暖かく感じた。と思つたら案の定夕方には雨になった。ずいぶん久しぶりの雨である。今日の徳島新聞の天気予報のところには、今「大雪」の候とある。これから本格的な冬になるのだろうか。つかの間の「暖かさ」かもしれない。面談のときには暖かい日であつて欲しい。待つ方は吹きさらしの廊下で寒いだろうと思うのです。暖かくしててください。



と書かれるとつらい。

◆ 実力テストが終わつた。テスト前の一時間目の自習はさすがに、ワイワイ言いながらのそれぞれにテストへの備えが見られた。六車先生が「やつぱり、昼からの自習とは違うなあ」と言われていたが、普段もそのくらいの意気込みでできるようにすれば、と思う。

自由作文より

(一部抜粋です)

\* この頃勉強があまりはかどらないのでイライラしています。段々入試が迫つてきて、なんか重苦しいなつて思つてきました。後入試まで九十日ぐらいで「ほんまに必死で頑張らなあかん」とか思つているのに勉強しても勉強する気分になつていなくて、どうしようかと思ひます。テストの数も後少ししかなくて自分の力がどこまで伸びるのかなあとか、もうどれだけしても伸びないんじゃないかなと思つたら不安になります。今まではずつとテストまえてもあんまり勉強しなくても不安にならなかつたし、テストの結果が悪かつたりしても「今度頑張つたらいいでえ」と思つてばかりでずつときたけど、入試近くなつてきたらそうはいつていられないし勉強してないときがすごく不安になります。



↓ 多くの人が、同じような気持ちでいる。程度の差はあつてもみんなおなじ思ひでいる。というよりそれが当たり前の受験生の姿。「私はごく正常なのだ」と思つておればいい。だから「ねんりん」にのせた。「勉強してないときが不安」というのはよくわかるなあ。先生もそうであつたし、みんな同じだろう。



くわかんなあ。先生もそうであつたし、みんな同じだろう。

◎ 私は三年になるまでこの高校でもいと思つていました。でも友達に「一緒にいこう」といわれて頑張つてみようかと思ひました。でも、思つたように点数が上がらず「やつぱり私は無理なんかな」と思つていました。その時いろいろな人の励ましがありました。先生や親、友達。とくに私は落ちこんでいるみたいに見えてしまうのでいろいろな人から声がかかりました。いろんな人の励ましと緊張感ですこしずつ上がつていき、いまあと少しです。受験は絶対自分一人ではできないと思ひます。いろんな人の励ましやライバルがあつてこそ努力できるんだとおもいます。後、80日ちよつとを頑張りたいと思ひます。

↓ 一番個人的なことである「受験」で「一人ではできない」と思つたあなたの考え方に大賛成です。ライバルであるからこそ励ましあいたえあうことができていくものと思ひます。ライバルはみな敵と思つことの寂しいこと。百八十五名がライバルであり、同時に励まし合う仲間であるということは、体験から得た貴重な教訓である。そのことをつかんだあなたはまた一つ大きくなつたわけだ。

★ 一日一日を大切に使つていきたいです。それと補習が毎日のようにあるけれど、私は先生がダウンしてしまわないのが不思議です。先生たちが余分な時間を使つて教えてくれているのであるから、私も先生たちの期待に答えることができるように努力していかねばならないと思ひます。↓ こんなに書いてくれるとうれしい。先生の宣伝みたいですね。しかし、先生もみんなと同じ。精一杯頑張つていきたい。それは先生たちの生き方にかかわることです。女の先生は本当に忙しいだろうと思つてしまふ。



3Cの学級「ねんりん」は「私は今、」で始まる二百六十字までの自由作文です。今の正直な気持ちを表れているように思います。お父さん、お母さんもぜひ目を通してください。

○ 僕は今勉強のことに悩んでいます。こたつの中で電気を付けっぱなしで寝てしまうことも時々ありますもう入試も近いので寝てばかりではいけないのだけれど勝手に寝ています。母に「気合が足らんのじゃ」と言われますが、そんな気もします。

● 私は今、もう一度部活動をしたと思うています。(本当は部活動をやめたいかと思ったことはありません。はつきり言えば嫌いでした。)こう思い始めたのは県大会が終わってからでした。一生懸命しておけばよかったと思いました。だから今もう一度、県大会のど気のように一生懸命に試合ができたように部活動をしたと思います。

☆ 僕は今、入試と家の手伝いとでごっちゃになっています。せっきのレンコンは今までになく忙しいにお父さんとお母さんは僕のことを思って、手伝いは試験が終わってからゆっくり手伝ってくれと言ってくれますが僕は体を壊してまで僕達のために働いてくれているお父さんやお母さんを少しでも楽をしてもらいたくて、一応十一時まで勉強してそれから仕事が続いているようなら起きていられる間でも手伝いたいです。

★ 私は今悩んでいます。困っています。毎日毎日勉強に追われて親からは勉強せえ勉強せえと口うるさく言われ、部屋で勉強していてもすぐに飽きてきてイライラしてくるのです。最近私は思います。それは、親から口うるさく言われているけれど、自



分はそれだけ勉強したのか、と。少しは私の気持ちもわかって欲しいものです。

◎ 私は今、とてもピアノが弾きたい。小学校に入ったときから習っていたピアノを今年の検定を最後に九年間の永い歴史を感動的に幕を閉じました。というより早く幕を閉じたかったです。嫌なピアノの練習が将来何かの形で役に立つかもしれないと、母に習わされていきました。が、いざピアノをやめ勉強に取りかかろうとすると、むしろようにピアノが弾きたくなります。



◇ 私は今、子守に燃えています。実はそれが悩みの種なのですが妹と歳が十二も離れていると、好い加減いやになります。すぐ泣き、すぐ怒り、すぐ忘れる妹を冬休みの補習のないときには、一日中子守に明け暮れねばならないのだと思うと涙が出てきます。その上「小さな子は何をしても許される」という考えを私の祖母は持っているようなので、妹がどんな悪いことをしても、すべて私の責任ということになってしまいます。今はただ耐えるしかありません。そしていつか、妹が大きくなったあかつきには胸張っていじめてやろうと思っています。



◆ 僕は今、テストが終わったところなので読書をしています。今はテスト、テストだけで勉強ばかりしてはいられません。やっぱり思抜きも必要です。よんでいる本は「桃太郎伝説」という子供が読むような題の本だけどころとした小説です。まだまだ読んでないけどこれからも暇なときや勉強の合間に読もうと思っています。

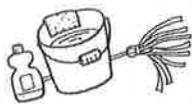
□ 私は今、雨が降らないかどうか心配です。曇って

いて今にも雨が降りそうです。今日は傘を持ってきていないので雨が降ったらぬれて帰るしかありません。新聞の降水確率は低かったのにどうしたんでしょう。



■ 僕は今何も迷っていることなどありません。友達みんなは受験とかでいろいろなことに迷っているようにだけ受験とかで人生が決まる分けてもないし。でも落ちると恥ずかしいっていう気もある。「ねんりん」とか見ていると受験についていろいろなことを書いてあるけれど、考えれば考えるほどわからなくなっていくような気もする。一生が決まるってわけじゃないけど、遊び半分受験の事を考えてもらっちゃいけないと思う。受験でむづかしいような気がする。

△ 僕は今非常に苦しい。いまだ六回のテスト結果を親に見せていない。そういうことは正直に言うこと一年の終わり頃に一度やって以来今までずっと見せてきた。それは大変いけないことであることは自分でも素直に認める。今、九時二十五分。三者面談は午後一時五十五分。このことがばれるのは三時間半後。そして今の僕はこの話題が出ないことと、この作文を明日見てくださいねあとと思っている。先生本当にすみません。



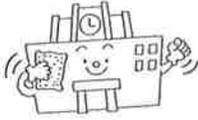
▲ 私は今毎日がとても楽しいです。受験勉強やテストのときなどはしんどいけど、テストが終われば学校でも家でも楽しいことばかりです。学校では毎日友達と話したりして本当ならしんどいテスト勉強なんかでも友達と一緒にしていたらあまりしんどくはありません。先生もすごくおもしろいし一年生の時や二年生の時も楽しかったけど三年生になってからは前よりもっと楽しい毎日になりました。

☆ 僕は今自分がよくわかりません。何を思っているかもわかりません。人間がどんなものなのかもわかりません。学校のテストの問題もわかりません。なぜ高校にいきたいのかもわかりません。今思っていることは苦勞だけはしたくありません。それしか思っていない。苦勞だけは絶対にしたくありません。将来に楽をするためには今苦勞をしなければならぬのでしようか。僕は今何をしたいのか、かわかりません。まったくわかりません。知ってる人は教えてください。



★ 僕は今、高校について悩んでいます。それはどこか、高校に行くのか、部活動はするのか、しないのか。ぜんぜん決まっています。親の意見と違うから、すぐ頭に血が昇ってきてムカついてきます。このままでは親子ゲンカではすまないかもしれません。もう僕は親と高校のはなしをするのがいやです。だから三者面談の時も時間だけが過ぎて他の人の方ばかり見ていました。家に帰っても、どうするん？決めたん？とか聞かれても黙って無視しています。どうしたらいいのだろうか。悩んでしまう。

○ 私は今、胃痛に悩んでいます。期末テストが終わった頃からなんでだかストレス君のお世話になっているのです。何がストレスの原因かというところはスレさんなのです。最近ストレスが溜まっている気がするな！と思ったら胃痛、頭痛、呼吸困難、吐き気その他諸々がコンニチワとやって来るのです。私は体の調子が悪いってことが一番嫌いなのでストレス君がストレスさんをよび、さらに大きいストレスへと成長していくのです。だけどもうそれも終わります。テストが終わったのです。冬休みには体がガタガタになる位ストレスを発散し



◇ 私は今友達と一緒に目指し居ていた高校に行くのが難しい状態です。もう諦めようかと思ったりしています。私はいつも心の中で、努力すれば大丈夫だと思っていました。だから、頑張って、頑張って勉強しました。人から見ればそんなに見えないと思います。現に親は欲こう言います。「まだ、頑張れる力あるだろう」ただ希望校が難しいというのではなく、努力したんだということ覚えておいて欲しいし、そして自分も絶対に忘れたくないです。

◆ 僕は今、風邪をひいています。朝起きるととてものが痛く、朝起きるのがとてもつらいです。時々鼻がつまることがあり、夕食がカレーでそれを食べるときは今までと違ってぜんぜんおいしくありません。か

△ 私は今、セントバーナードみたいな大きな犬が飼いたくてたまりません。小型犬は今飼っているのですが、飼いたくものだから大きな犬も飼いたくなくなってしまうのです。でも、大型犬は寿命が短いからすぐ死んでしまいます。でも、私は大きな犬が飼いたいです。

■ 私は今、絵の勉強がしたいと思っています。小さいときから絵を描くのが好きで中学生になっても美術部にはついて教室でも友達と絵を描き続けています。お母さんにそのことを言うと、「絵では食べていけないのやけんやめなさい」といいます。初めはほんの落書き程度でしたが、今は本当に絵を描くの大好きで一日中描いても一年中描いても飽きません。「絵を描くのをやめろ」などと言われると死んでしまいかも知れないほど絵を描くのが好きでその好きなことをいつまでも続けられたらいいなと思っています。



◎ 僕は今、入試まで日がないのでN君が「ファミコンを帰して」と給食の時言ったときとてもこの一言が羨ましかった。今、一番欲しいものは時間と問題集、金はいらない。「時は金なり」の意味がなんとなくわかった気がする。僕には頼れる人がいないというか、とうちゃんには、人に頼らず自分の足で歩ける人になれとか、独立独立の精神を尊重しろといっている。だから他人に甘え頼ることなく入試に向けて一步一步進んでいきたい。



● 僕は今自分のやっていることがわかりません。自分のことが一番わかりません。自分の思っていることや他の人が思っていることと逆のことばかりしています。それとか「なぜ、勉強をしなければいけないのだろうか」とも思うことがあります。いまさら勉強しても入試は滑るときは滑るものだと思います。そういう考えからかこの頃また言い合いをしたりしています。

□ 私は今、受験のことで悩んでいます。勉強しても成績はあがらないし、入試は段々近くなってくるし、本当に行きたい高校が見つかりません。お父さんやお母さんは私が思っている高校には行かせたくないといっています。両親がいつている高校に私も行きたいと思っています。でも、勉強がついていきません。テスト前に勉強しているとなんかすごくイライラしてしまっています。

■ 私は今、絵の勉強がしたいと思っています。小さいときから絵を描くのが好きで中学生になっても美術部にはついて教室でも友達と絵を描き続けています。お母さんにそのことを言うと、「絵では食べていけないのやけんやめなさい」といいます。初めはほんの落書き程度でしたが、今は本当に絵を描くの大好きで一日中描いても一年中描いても飽きません。「絵を描くのをやめろ」などと言われると死んでしまいかも知れないほど絵を描くのが好きでその好きなことをいつまでも続けられたらいいなと思っています。



△ 犬の飼育について、大型犬は寿命が短いからすぐ死んでしまいます。でも、私は大きな犬が飼いたいです。

■ 私は今、絵の勉強がしたいと思っています。小さいときから絵を描くのが好きで中学生になっても美術部にはついて教室でも友達と絵を描き続けています。

□ 私は今、受験のことで悩んでいます。勉強しても成績はあがらないし、入試は段々近くなってくるし、本当に行きたい高校が見つかりません。

● 僕は今自分のやっていることがわかりません。自分のことが一番わかりません。

◎ 僕は今、入試まで日がないのでN君が「ファミコンを帰して」と給食の時言ったときとてもこの一言が羨ましかった。

◇ 私は今友達と一緒に目指し居ていた高校に行くのが難しい状態です。

○ 私は今、胃痛に悩んでいます。期末テストが終わった頃からなんでだかストレス君のお世話になっているのです。

☆ 僕は今自分がよくわかりません。何を思っているかもわかりません。

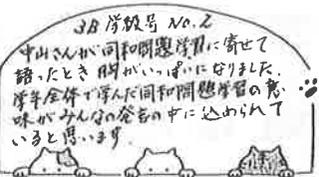
◆ 僕は今、風邪をひいています。朝起きるととてものが痛く、朝起きるのがとてもつらいです。

◇ 私は今、風邪をひいています。朝起きるととてものが痛く、朝起きるのがとてもつらいです。

◆ 僕は今、風邪をひいています。朝起きるととてものが痛く、朝起きるのがとてもつらいです。







て上げたい、何か力になることを上げて上げたいと思うのは仲間を思う心だと  
思います。

同本 正太郎は英夫が腐れているのを見て、勝ち負けは別として最後まで英夫を  
始めとするナインと最後まで戦いたいと思ったから陰をつくったんだと思  
います。

T 共に頑張ってきたということですね。

赤澤 僕も正太郎が英夫に陰をつくったというのは、みんなでこの試合を乗り切  
ていかなければならないと思ったからだと思います。それだけナインは一  
つになれたんだと思いました。

T 一つにつながったということですね。正太郎を中心にあげただけ頑張った。  
そういう関係であった。それにもかかわらず正太郎は驚くほど変わってしま  
った。今の正太郎について、突っ込んでしまっただけ正太郎について、みんなが思う  
ことを語ってほしいと思います。

村山 かつての正太郎はナインを引っ張っていく統率力があって、リーダーの存  
在の強い人だったから、ナインがついていて正太郎にも人を思いやる心が  
あって、ナインにもその正太郎についていきたいという思いがあったと思  
います。でも、その正太郎が今では、心から信じ合っていた仲間から寸借詐欺  
とか人を騙す行為とかをしていて、それは絶対に許せん行為だけど、正太郎  
の家では家庭の中でお父さんの女入りとかがあって、しょっちゅうもめて  
いて喧嘩のあるたびに正太郎は家を出していたと資料の中にあっただけ、そ  
んな家庭だったからこそ正太郎がそこまで変わっただけと思うし、周りの大  
人によって子どもは大きく左右されるし、影響もされやすいものだと思  
いました。

廣瀬 今の正太郎は許せないと思いました。旧友だから關していいのではなくて、  
旧友だからこそ關してはいけいけないのだと思いました。陰をつくり合いながら  
19回を投げきったせつやくの絆を一人のせいで壊してしまっはいけないと  
思いました。

園校 村山君は小さい時からの家庭の事情が原因で変わってしまったと言った  
けど、昔からそんな複雑な家庭環境におかれても、正太郎はしっかりとキャプ  
テンとして新道少年野球団を引っ張ってきたんだから、家庭のもめ事は理由  
の一つはあるけれど、正太郎がこんなに変わった直接の原因にはならない  
と思います。

T 今の意見についてどうですか。

井上 私は村山君の意見と同じで園校さんの意見もわかるんだけど、やっぱり子  
どもというのは、周りとかそういうのに流されやすくて、だから正太郎も  
社会の流れとか家の中の事情とかに負けてしまったんだと思います。そして、  
正太郎はずっと耐えていた父のことがあったと思うけど、それは新道が変わっ  
てしまったとたんに、やっぱり正太郎も心の支えみたいなものがなくなって、  
今まで親のそういう行動とかも我慢していたけど、やっぱり我慢できないよ  
うになったんじゃないかなと私は思います。

T 今の発言に答えてどうでしょうか。

井上 どんなんに家の事情があっても、やっぱりそこまで信じてくれるナインのみ  
んなを裏切つてまで、そんな悪い行動をするのは、やっぱり正太郎は許せな  
いと思いました。

中山 井上君も言っていたように、今現在の正太郎は悪いと思います。これはも  
うみんながわかっていることだと思うけど絶対悪いです。でもやっぱり周りの  
人間のマイナスの影響とか、家族のいろんなもめ事があったりして、新道  
が変わっていく中でやっぱり正太郎の中でも、何か変わっていくものがあ  
ったんだと思います。

T いろいろ意見が出てきたけど、今の発言に聞いてどうですか。

小川 やっぱり人を騙しながら物を盗むことは、どんなことがあっても悪いこと  
だと思います。もしそれで人が亡くなっていたら、大変なことになっていた  
と思います。だから絶対に正太郎がしたことは悪いと思います。(折原◎)

廣瀬 あの正太郎が今こんなにおかしくなっているのは、家庭内でのいろいろあ  
ったためだとしたらそれはやっぱりおかしいと思うんです。そのためにナイン  
を裏切つてというのは、さっきの日陰をつくったときの気持ちに当てはまると  
思うんだけど、あの日陰をつくって上げたときにナインのことを心から思っ

ていたら、今は裏切つていないと思います。だから、日陰をつくったときの  
気持ちもやっぱり怪しいような感じがします。

松本 僕はこの正太郎は昔は良いことをしたような感じがするけど、やっぱり今  
は本当に悪いと思います。それから常雄や英夫はこの正太郎を訴えることが  
できなかったと書いてあったけど、僕だったら正太郎はやっぱり昔心を一  
つにして頑張った仲間だからやっぱり信じているし、訴えようと思っても後  
もにもどつてくれると信じて、訴えることができなかったと思います。

T 今の松本君の発言につなげて。

村山 訴えるか訴えないかということなんだけど、僕の場合は訴えられないとい  
う方の意見です。英夫と常雄は実際に正太郎のことを訴えなかったけど、英  
夫たちの気持ちの中には、正太郎が騙し取ったものは絶対いつかは償って  
くると信じていると思うんです。そんなに信じてるのは、少年野球団のときに陰  
をつくってくれたりして、実際に支えてくれたとでも力強い存在だった、と  
ても尊敬していたからだと思います。もし、正太郎を訴えたら自分の尊敬  
している人を消してしまうことになって、正太郎を支えとして頑張った部分  
までも消えてなくなってしまうと思ったから訴えられなかったんだと思  
います。

T 今の松本君と村山君の発言にかかわってくるんですけど、正太郎のしたこ  
とは絶対に悪いことであり人として許せない絶対に悪いことですよ。これ  
はさっき中山さんも言いましたけど、にもかかわらず英夫は許すだけでなく、  
「一人前になれたのは正ちゃんのおかげだ」と正太郎に85万円という大金  
を騙し取られておりながら正太郎に感謝までです。その許すだけでなく感謝  
までする英夫について、みんなが思うことを聞かせてください。(板倉◎)  
佐々木 英夫は本当はさっさと正太郎のことを憎んでいると思います。けどあの  
日陰をつくってくれた正太郎の優しさがナインみんなできつった思い出を喰  
したくないという気持ちがあったと思います。

土内 人間のだらしないさやうぬばれて自分だけ幸せを求めていくようになった世  
の中の流れの中で、英夫は85万円分騙し取られたことによって、人間として  
大切な人間の結び付きだけは失いたくないと思ったんだと思います。

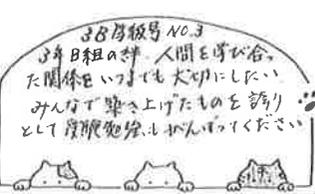
小川 西日を通ってくれた正太郎だ、新道少年野球団での仲間でもあったので、  
やっぱり全然日陰のないところに日陰をつくってくれたその思いが、心に残  
って感謝という英夫の思いがどうしても正太郎を訴えることをさせなかった  
んだと思います。

井上 英夫というのは昔の人間と人間のつながりがあった新道がすごく好きで、  
今の新道は変わっているけど、その昔の新道に思いを寄せて今まで頑張っ  
てきたんだと思います。そして、新道と言えればやっぱり新道少年野球団が  
出てきて、新道少年野球団が出てくるということには、正太郎が陰をつくって  
くれたということがやっぱり出てくるんだと思います。だから、そのことを否  
定することになれば、自分の心の支えをなくことになるから、そのことは  
さっさとやめよう、もう正太郎がやったことはさっさと許さないけどできるだけ  
正太郎を美化するとか。何でも悪いことをいいことの方に思うように英  
夫はしているんだと思います。(板倉◎)

T 心の支えだったということ。

新野 正太郎が英夫の心の中ではなくてはならない存在になっていて、そして正  
太郎を信じないということは、英夫自身を信じないということになると思  
います。

中山 私は最初憎んでいるのに感謝するという意味がわかりませんでした。さ  
っきも出てきたことなんだけど、警察に届けるか届けないかという話なんだ  
けど、きっと私が英夫の立場だったら警察に届けるかと思いましたが。それは英  
夫に陰をつくってくれたのは正太郎だったけど、同じ野球をやっていたメン  
バーと一緒に陰をつくってくれたので、正太郎だけが陰をつくってくれたの  
ではないかと思いつつ、正太郎一人よりもたかさんのナインの方を選ばずと思  
ったからです。そんなことをいろいろ考えているときに、一人の友だちに言  
われたんだけど、「もし私が部活の人間として、私がこれからのこと今この  
いろいろと悩んでいてその苦しみをわかってほしくて、『私は部活の人間で  
す』って、この3年B組のみんなに打ち明けたら、そのとき3年B組のみんな  
が温かい眼差しで『何言よん、そんなこと関係ないよ、これからいっしょ



に学んでいこう」と言ってくれたとき、それが陰をつくってくれたことになる」と言う。私はそう思うよ。」と言ってくれたんです。そのとき私はハッとしたんです。英夫と正太郎の関係は私たちが同和問題の学習で築き上げてきた関係とよく似ていると思うんです。どんなことがあって否定できない、どんなことがあっても切れることのない関係というもの、人間には必要なことだと思うんです。私たちは今まで一生懸命に同和問題の学習に取り組んできました。私の住んでいる板野町には部落と言われて差別されている地域があります。この学習に真剣に取り組み始めたのは、差別を受けて悲しんでいる友の叫びを聞いてからです。今思うといろんなことがあつたけど頑張ってきてよかったと思います。この学習を始めてからナインのような関係ができてきたと思います。一人の子が自分のことを告白する周りのみんなが支える。そしてその子の笑顔がみんなの支えになります。ナインと同じだなあと思います。

井上 私も中山さんの言った通りだと思います。このナインの関係というのが私たち今の3年B組の関係であってほしいと私は思いました。これは私もやっぱり中山さんの言うように、どうして英夫は正太郎のことを許すのかなあと考えていたけど、中山さんと考えていて、やっぱり支えてもらったということはすごく嬉しいことだし、私も2年生からずっと公開授業とか全体学習とかをやってきましたでもらったことがたくさんあって、そのときのことがかいまほつきりと心に残っているし、英夫といふのはやっぱり正太郎が支えてくれたことがすごく嬉しかったんだと思います。

井上 今聞いていて、やっぱりこのナインの資料は何か僕たち3Bにあてはまると思っています。これから徳島県も板野町も発展していくと思うし、やっぱり昔の板野がよかったなあと思うことがあると思います。僕たちは中学生ですけど、これから高校へ進学したり就職してても、こんなナインのような関係になっていきたいなあと思います。

村山 やっぱりこのナインの資料の中には、同和問題学習で学んできたことを土台として考えた方が何かわかりやすいところがあると思います。国語の学習という意味で考えたら答えを見つけるために決まった答えを探すために、みんな同じような考え方になっていくと思うんです。でも同和問題の学習では、お決まりの答えを求めるのではなくて自分の本当に感じたことや自分の中でこみ上げてきたものを意見として語り合うことになって、どれだけ周りが反応してくれるかということが大切だと思うんです。本当の思いと思いをぶつけ合うところに同和問題学習の本当の意味や喜びや楽しさがあると思うんです。また、今まで積み上げてきた同和問題学習によってこのナインの関係は3Bの中にもいざいできてきたと思うんです。支え合うということに本当に大切なことだと僕もしみじみ思っています。自分が発表したときに周りが支えてくれて、もっと頑張らないうち、こんな仲間のためにももっと頑張らないうちと思ってきました。このナインの団結とか支え合うということを考えていくうちに、やっぱりみんなのことが真っ先にできて、それでこんな大きな授業とかをたくさん経験してきたから、ある程度は自分の思うままの意見が言えるようになってきたと思うんです。それでさっき井上君が言ったように、板野町とか徳島県とかもだんだんと変わっていくと思うんです。変わっていくことによって、昔の方がよかったなあという気持ちも湧くと思うけど、大きくなってからも周りにこんな仲間がいて、互いに支え合って生きていくことができたらずばらしいと思います。これから高校へ行ったり就職したりして、周りの仲間に自分の心を聞いて話のできる人がいなくなったら差別されるかわいれません。だけど、今はこの周りに仲間がいるからどんなことがあっても頑張っていくことができます。実際、将来負けそうになったときも、今のこの仲間に相談できるような関係をつくっていかたいと思います。

松本 このナインとこのクラスはほとんど一緒だと思います。ナインも助け合ったり、支え合ったり、協力し合って何か一つのことを頑張っているし、僕らのクラスもやっぱり一人一人が、一人がみんなをみんなが一人を支え合い励まし合って、同和問題学習に頑張っているから似ていると思います。それから今の学習を頑張っていて、やっぱりさっきも言ったんだけど、もう少し

したら中学も卒業で就職や進学をするし、やっぱり就職や進学したら、目に見える差別に出会うことも出てくると思うんです。だから今のこの関係やこの思いとかを忘れないで頑張っていかなければいけないと思います。

藤原 私もみんなが言うようにナインとこのクラス3Bはよく似ているなあと思いました。それで先生が道徳教育と同和教育は違うって言いましたよね。確か、この大会で部落問題ずばりの資料はできんと言いましたよね。でも私はこの資料「ナイン」の学習で、ナインは私たちのクラスに似ているなあというところが出てきたけど、私たちのクラスの今の関係は今までの同和問題の学習によって成り立っているんだから、道徳教育と同和教育は全く一緒ではないかもしれないけど、結局はつながっているんだと思います。

井上 藤原さんの意見が出たんだけど、私たちがこの富田中学校にきて授業をするとき、私たち3年B組は同和問題の学習をするもんだと思っていたのに、こういう直接同和問題に触れない資料をするということでもちょっとやりにくいなあと思ってたけど、結局同和問題の学習も道徳の学習も一緒に人間の生き方につながっているものだから、みんないろいろな意見が出たと思うんです。結局人間というものは支え合ったりして生きていかなあかんもんやし、だから、私は社会の流れとかに流されんようにして今までのみんなとの関係を大切に守りたいんです。私にたくさんの子が自分の一番つらかった部分だった部落に生まれたということを書いてくれたけど、私は絶対にその子たちを罵ることができないように、その子やが西日に照らさるようなことがあつたら、きっと日陰をつくれるような人には私はなりたいなあと思います。

中山 私も藤原さんと井上さんの意見に付け足すんですけど、やっぱり始めにナインの資料をもらったときに思ったことは、何か難しいということが一番最初に思ってた、2回目、3回目と読んでいくうちに、段々いろんな考えが生まれてきたし、クラスでも意見の違う人がたくさんいて、話し合いも盛り上がりつつあるんだけど、どうでも私は考えが変えれんというか、こだわっていたところがあるんだけど、今までの同和問題学習で築き上げてきたクラスの信頼関係と平行して考えていくと、ナインの奥に流れているものがよくわかってきたんです。やっぱりこの資料「ナイン」だけで考えていたら、今のような発表とか私の発表とかはなかったと思います。そして、みんなが心を一つにして板野中学校全員で同和問題について学んできたかというんことが考えられて、こうやって発表ができるんだと思います。

楠本 このナインとこのクラスの関係は似ているところがあると思います。私も前にみんなを信頼して自分の一番つらい部分を打ち明けたんだけど、周りが支えてくれたときはうれしかった。はじめは言おうかどうか迷ったけど、みんなが支えてくれたので言えてよかったと思います。

大森 3年B組とナインはもうそのまま同じだと思います。自分のことを告白してその子がそのままではなくみんなが支えてその子の陰になっているから、このクラス全員がみんな一人一人の陰に入っているんだと思います。

廣瀬 このナインと3年B組はやっぱり同じだと思います。この「ナイン」の資料と部落問題学習の資料も根本は同じではないかと思いました。そして、高校に行って団体にぶつかることがあつても、僕は今まで僕を支えてくれた人とか、3年B組のみんなのことを思い出して、自分で自分自身を励ましなが頑張っていきと思っています。

T 英夫の気持ちや英夫の姿に我々3年B組というつながりを重ねて、みんないろいろな思いを語ってくれた。英夫の思いを今一度かみしめてみたい。最後のところで英夫が「自分たちは日陰なぞありえないところにちゃんと日陰をつくれた。このナインにはできないことはないんだ。そんな気持ちでいっぱいでした。その気持ちは今でもどこかに残っていると思います。だから……」（板書）この「だから……」の後に飲み込んだ言いかけた思い、この英夫の思いに寄せてみんなの思いを語り合ってほしいと思います。

漆原 やっぱり英夫は今も、ナインのみんなの心は一つになっていることを望んでいるんだと思います。

村山 このナインにはできないことはないんだという強い気持ちがあつたんだと思います。それで僕もこの富田中学校へ来る授業の前に、このクラスのみんな



なにはできないことはないんだと思って、みんなを信じて授業にきて実際にこの授業をしたら、やっぱりすごいなあって思いました。それで英夫の思いはやっぱりこのナインの関係を絶対になくしていきたくないという気持ちと、ナインを信じていた自分の気持ちを常雄や正太郎や他のナインも同じように思っていると思って、頑張り続けるものになっていんだと思います。

永峰 新道少年野球団のキャプテンとして活躍してきた正太郎が、他のナインたちの気持ちを打ち破り常雄や英夫たちを傷つけたけど、今でも優しい気持ちは正太郎の心の中にあると思うから英夫たちは憎めなかったと思います。

土内 陸をつかった正太郎が英夫の苦しみを自分の苦しみとして背負ったように、ナインだから、ナインとしての掛け替えない仲間だから、その心はまだ正太郎の心の中に残っていると思い込んでいると思います。

太田 ナインみんなが集まれば陸のいないところにも陸をつくれる。そしてできないことはないんだという気持ちが今の正太郎に少しでも残っていたら、自分のやっていることがみんなに迷惑をかけているかに気付いてくれるという自信と信頼が英夫にあったと思います。

T 自信と信頼ということですね。

斎藤 私が3年日組のみんなを大切に思っているように、英夫も正太郎のことを大切な人と思っていると思います。

松本 僕はここでは正太郎を信じているかいけないかだと思います。正太郎を信じていたから、さっきから僕が何回も言ったことだけど、英夫は正太郎を警察に訴えることができなかったし、英夫に頼みですという思いがでてくるんだと思います。

井上 英夫というのは、自分には正太郎を信じることはできないんだと思っていたと思います。だから正太郎が心を入れ替えて帰るまで、その正太郎がつくった穴を埋めることしか自分にはできないんだと思ったんだと思います。そして、やっぱり自分たちナインには何もできないことはないと思っていたから、変わっていった新道を自分たちなら昔の温かい関係の元の新道に変えられると思ったんだと思います。もし、新道の街自体が大きく変わってしまったら、昔の人間と人間の絆があった新道のよさをもって、自分たちは頑張っていくことができるという自信があったんだと思います。そして、今私は英夫みたいに、絶対に切れることのないみんなとの絆を大切にしたいし、自分たちには何もできないことはないと思っているから、たくさんの人が板野という町をどう思っているかは知らないけれど、私は3年日組のみんなとなら絶対に、板野町に対する偏見の目とかを払ってあげると私は今自信を持っています。

中山 私も井上さんと同じような意見なんだけど、この3年日組のクラスの中に私がいてよかったと思います。みんなの前だったらいろんなことを発表できるし、そしてもし友だちとかがその友だちのつらいことを告白してくれたときでも、このクラスのみんなだったら一人にしないですぐに手を挙げて支えてくれるし、そんな仲間とならどんなことでもできると思います。そして、私もみんなとともにこの板野町をどんなふうと考えている人がいるかわからないけど、そんな偏見の目を一生懸命頑張って払ってあげたいと思います。

松本 このクラスは僕の一番言いたいことがはっきり言えたクラスであり、やっぱり心が通じ合ったクラスであるから、この思いを忘れないで将来この思いを生かして、差別とかにも対抗して頑張っていきたいと思っています。

T みんなの思いがいっぱいつまった授業になってきた。そのことが嬉しい。そして、本当時間がわずかになってきたんですけど、前の時間の話し合い。またこの時間をもらってみんなの中にある思いを最後出し合って、この時間を閉じたいと思います。

村山 この「ナイン」の学習ももことになるものは同和問題学習だと思います。この資料も国語として考えれば難しいものがいっぱいあって、あまり考えが出てこなかったと思うけど、今まで取り組んできた同和問題学習を土台として考えてみたら、どんどん考えが深まっていくし、出てきた意見についても自分でもっともって考えていかなければという思いがあって、実際に考えられるようになったのは、同和問題の学習があったからだと思うんです。前の時

間に道德の学習と同和問題の学習は違うという話があったけど、やっぱり道德の学習をしていく上でも、今までの同和問題学習の積み上げがあったから考えることができたし、僕たちは同和問題学習の方を先に重点的に勉強していたから、ここまで意見が言えるようになって、この「ナイン」の資料とかもより深く考えられるようになったから、同和問題の学習は人間の生き方を考えていく基本としてとても大切なものだと思います。また、ここまで周りのみんなを信頼できるようになってきて、支え合う仲間ができてみんなとの絆がどんどん深まってきたのは、やっぱり同和問題学習があったからだと思うんです。僕には同和問題学習を通してできた仲間がいたから、今の自分があるんであって、仲間がいなくて支えがなかったら今の自分はなかったと思います。

井上 今日の授業はみんなに熱いものがこみ上げてきたと思います。こんなに発表するんだから、みんな一生懸命になっているんだと思います。そして前を見てみると「人間としての生き方を考える道德教育」と書いてあるけど、やっぱり村山君の言うように人間としての生き方を考えていく上では、同和問題学習も道德の学習も変わらなないんだと思います。

藤原 この「ナイン」の資料を最初に読んだときは、まさかこの「ナイン」が同和問題学習と重なっているとは思わなかったけど、いざそうなって考えてみたらそうだなあと納得できて、今の場に自分が居たことごとをともうれしく思います。それで、このみんなとずっとこれからも頑張っていきたいし、ナインは正太郎のせいでもなくていいように感じになってください。私たちが絶対正太郎みたいな人を出さずにそのままずっと崩れないでいきたいです。

土内 今日は私の友だちが初めて手を挙げてくれてすごく嬉しかったです。友だちも嬉しかったと思うけど、その嬉しさが自分のことのように思えてきて、何か本当に嬉しかったです。それと、今日手を挙げられなかった人も、自分ではできないと信じないで、自分ではできるんだと信じたら絶対できると思うから頑張ってください。

T ありがと。時間ができてしまいました。

生徒 時間延長できんのですか。ほなって手を挙げると子、ようけおしり……。

T 時間もいらいます。

畑田 今日僕は一回も発表してないけど、さっきからずっと考えていたんだけど、「ナイン」を最初、授業する前は同和問題学習とは全然関係ないと思っていたけど、「ナイン」を勉強していくうちにやっぱり同和問題学習と結び付きがあるんだと思いました。だからこそ何かこんなに熱いものがこみ上げてくるんだと思いました。

川田 みんな信頼とかいっぱい言ってくれたけど、私はこの前ちょっと発表できなかったりして、みんなを裏切ろうとしていました。そのことを先生に言ったら、それは今まで信頼してくれた友だちを殺すことになってしまうと言われてすごくそれから悔しかったです。だけどそんな私でも、みんながしてくれたから、これからまた燃えられるようになるかなと思いました。

中山 私たちもやっぱり川田さんのような人がいて友だちがいる、川田さんのように発表してくれる友だちがいるから、これからも頑張ろうと思うし今頑張れているんだと思います。

井上 この資料を読んでやっぱり最初に思ったことは、疑義的には豊かになってきた日本だけど、どんな人間の心というのは貧しくなりつつあるんちゃうかなあと思いました。この正太郎のように社会の流れに流されて変わっていく人ってたくさんいると思うんです。だけど私たち3年日組だけは絶対に変わらないままで今の絆を大切にしたいなあと思いました。それでこの勉強をしていて英夫という人は、同和問題を考えていく上でも、人間の悲しみとか部落差別とかの悲しみがすごくわかる人だと思います。だから私たちも英夫のようにずっと仲間を信頼して生きたいし、そして今の3年日組のみんなだけじゃなくて、たくさんの人と話をすり合わせて、この絶対おかしな差別をなくしていかなければならないと思いました。それに今日みんなすごく輝いていたと思います。

T (板書の「3年日組の絆」) 終わります。



